

(株)五井建築研究所 環境行動計画

平成 27 年 7 月 28 日

取 組 方 針

(株)五井建築研究所は建築の研究を通して多様な技術を習得することにより、技術に裏付けされた創造性豊かな建築を創り出すことを目指し、それをもって社会・公共に寄与したいと考えています。

当社の事業活動を進めていく中で、環境保全が重要課題の一つであることを認識し、持続可能な環境づくり、地域社会との融和を図りながら進歩・発展していくことを目指してまいります。私たちは、事業活動に伴う環境への負荷を少なくするために、以下の取組を社員一丸となって推進します。

- ① 事業活動の中での省エネルギーと省資源(紙使用量の節減・節水)
- ② オフィス全体における廃棄物の削減
- ③ 5S(整理・整頓・清掃・清潔・躰)の徹底

この方針に基づいて社員一人ひとりが自主的に環境保全活動に取り組むために、取組方針と取組目標及び具体的な取組内容を全社員に周知します。

平成 27 年 7 月 28 日

株式会社 五井建築研究所

代表取締役社長 西川 英治

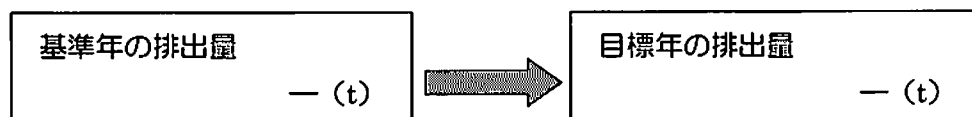
3 環境負荷の低減目標

2016 年に向けての環境負荷の低減目標は、次のとおりです。(数値的な低減目標についての基準年度は、いずれも 2014 年です。)

【目標 1】 二酸化炭素の総排出量を 2%削減する



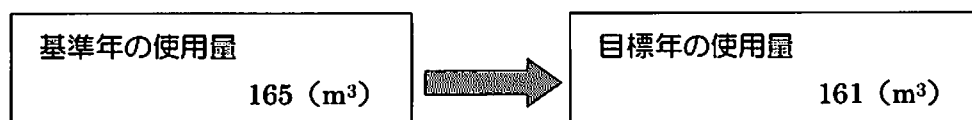
【目標 2】 産業廃棄物の排出量を 2%削減する(2015 年データから 2%削減を目指す)



【目標 3】 コピー用紙の使用量を 2%削減する



【目標 4】 水使用量を 2%削減する



4 環境保全に向けた具体的な取組

【取組 1】 二酸化炭素排出量の削減

- ・ 不必要な残業はしない、休日出勤は出来るだけ避ける
- ・ 使用していない場所の電気は消す
- ・ 使用していない場所の空調を停止する
- ・ 無理のない範囲で空調の使用時間を短くする
- ・ エアコンのフィルターを月一回掃除する
- ・ 個人的な暖房器具の使用を禁止する
- ・ 昼休み時間は完全消灯し、PCはスリープモードにする
- ・ PCデスクトップ、PCモニターの電源を落として帰社する(プロッターなども同様)
- ・ 長時間席を離れる時は、PCの電源を切る
- ・ トイレ、廊下などは人感センサーを導入する

【取組2】 廃棄物の適正管理と排出量の削減

- ・ プラ容器は生ごみではなく、洗って分別する
- ・ 飲み物はマイボトルにする
- ・ 家庭用のゴミは持ち込まない
- ・ 自分の書類は定期的に整理する
- ・ 不必要にカラー印刷しない
- ・ ペットボトルは有料処分とし、リサイクル率 100%を目指す

【取組3】 コピー用紙使用量の削減

- ・ 両面印刷、両面コピーを徹底する
- ・ 使用済み用紙の裏面を利用する
- ・ 書類、資料の電子データ化を進める

【取組4】 水使用量の削減

- ・ 配管からの漏水を定期的に点検する
- ・ 手洗い場に節水を呼びかける標語シールを掲示する

【取組5】 その他の取組

- ・ 社員による技術提案制度で、環境への取組についても提案を募集する
- ・ 定期的に事業活動の改善会を行う

5 環境行動計画の実施体制

事業活動担当者を委員長とする環境活動委員会を設け、四半期ごとに取組目標の進捗状況と具体的な取組の実施状況をチェックします。